



学校法人志賀学園
久之浜こども園
平成29年9月29日

稲穂が黄金色に色づき秋本番となりました。

秋晴れの中、さくら組の園児のみなさんが稲刈りを行い、また他の園児もクラス毎に園外保育に出かけたり、散歩をしたりして秋の空気を満喫しています。

先日は、さくら組の園児と先生で普通列車と路線バスを使い、日立のかみね動物園まで遠足に行ってきました。電車の中では、駅名調べをしたり、動物園ではグループに分かれ動物の特徴を調べたり、スケッチをしたりして楽しんできました。

かみね動物園への遠足は、久之浜第一幼稚園の時から数えると、もう35年も続いている行事ですが、この遠足を経験する頃になると、年長さんは自立心が芽生え、お話を聞く態度、活動の様子に自信が増してきます。

さくら組では、早速この経験を活かし、動物の絵を描いたり、粘土で動物を作ったりして、作品展に向け創作意欲を高めています。

こども園初めての「作品展」は、原点に返り日々の遊びや経験を、制作活動に繋げて行き、出来た作品を展示するということになりました。さくら組は動物園への遠足の経験を活かし作品作りをしています。すみれ組はみんなで作りたいということになり共同制作に取り組みます。ばら組は1学期から遊んできたお店屋さんごっこがお弁当作りに発展してきたことから、一人ひとり自分のお弁当を作ることになりました。もも組、たんぽぽ組、ちゅうりっぷ組は、これまで日々遊びの中で制作してきた物を作品として展示します。年齢ごとにそれぞれの今の育ちが感じられるような作品が展示されると思います。27日の作品展にはどうぞみなさんでおいでになり作品をご覧ください。

さて、今年の十五夜は10月4日です。十五夜は中秋の名月といわれ、お月見の習慣は平安時代から始まったそうです。秋の収穫に感謝する意味もあり、すすきや萩の花を飾り、だんご、さつま芋、梨や栗などをお供えます。

家族そろって、秋のきれいな夜空に浮かぶ満月を眺めてみるのも良いですね。

園では2日にお月見集会を行います。お月見の由来のペープサート劇を見たあと、おだんごを作り食べます。季節の折々に昔から伝わる習慣や風物詩を子どもたちに伝えて行きたいものです。折に触れ、昔ながらの行事等を園からも発信していきますので、ご家庭でも話したり体験したりして見てください。子どもたちが心豊かな人になるよう、園とご家庭と連携して共に子育てを楽しんで行きましょう。